

# 愛知学院大学

## 学生一人ひとりとの信頼関係を築きながら個別にサポート

### 学生への支援と 保護者相談会で、 就職活動の動向に対応

1876年(明治9年)の創立から一貫して、「行学一体・報恩感謝」という建学の精神の下に教育活動に取り組んできた愛知学院大学は、現在、4つのキャンパスで、「自分の可能性に挑戦し、協働の場で主体的に活躍できる人材」を育成しています。学内には10学部16学科と短期大学部を持ち、約1万2000人の学生が学んでいます。

「実社会の場をより意識した学びを行っている本学では、キャリア教育も各学部が独自に行っている授業が多くあります。その中でキャリアセンターでは、まず入学時



キャリアセンター 事務部長  
谷 保範 氏



キャリアセンターでの面談風景

のオリエンテーションの中にキャリアの話を取り込み、これからの学生生活の中でどのようなことを意識して過ごすかと将来への力になるのかという話を伝えています。学生たちは熱心に話を聞き、後日に具体的な何をしてあげたいでしょうか? などと質問に来る学生も少なからずいます」と説明するのは、キャリアセンター事務部長の谷保範氏。1・2年生では、自分の将来の姿を描きながら、その実現に向けたステップを講義を通じて体験的に学び、2・3年次からのインターンシップや就職活動・進路選択に備えます。「本学では例年、全国11以上の会

場において、保護者対象の相談会を行っております。また、保護者に向けた就職説明会も実施しており、これらの行事の中でもキャリアセンターの職員が個別相談ブースで保護者からの質問・相談に対応しています。学生の就職活動ととりまく環境がめまぐるしく変化する中で、保護者のみなさんは熱心に参加してください」

### 就職にまつわる 不安や悩みを共有し、 前向きな気持ちに

「障がいのある学生については、法律や文科省の対応指針に基づき、すべての学生が平等に学べるよう環境整備を進めております。修学や学生生活の支援はもちろん、就職についての支援も学生相談センターや学部教員とキャリアセンターが連携しながら、個別に対応しています」と説明されるのは、キャリアセンター就職課の神村静恵氏。毎年夏と冬に、障がいのある学生のための就職ガイダンスや相談会を開き、障がい者雇用の現状や就職活動の進め方の説明、個別ブースでの相談など、より具体的な就職支援の

機会をつくっています。

「ガイダンスで情報を得て気持ちが軽くなった、前向きになれたという声や、これからの学生生活をどう過ごしていけばいいかイメージできたという声など、嬉しい声が届きます。就職への不安や悩みに対して、専門家からの個別アドバイスを得て安心できるようです。同じ場に集まった他の学生の存在も励みになっているようです」

キャリアセンターでは、まずは本人の意思で、納得して動くことを大切にしていると語る両氏。だ

からこそ学業の状況や、体調もみながら、本人のペースや考えに寄り添って支援しています。ここ数年はインターンシップなどへの参加をきっかけに、選考、内定へとつながるケースも増えており、相談の時期、内容とも幅が広がっています。これからも一人ひとりの学生との信頼関係を築きながら、きめ細かな支援を行っていきたいと語ります。



### MESSAGE

#### 学生へのメッセージ

#### 情報もサポートも積極的に活用を

学生生活での経験は、卒業後の社会人生活といういろいろな面につながっています。人の持ち味や強みは、学生生活の中で試され発揮されて自信となり、就職後も仕事で活きてきます。必要な情報や周囲のサポートを活用して充実した学生生活を送ってきた学生なら、採用側からみても「しっかり仕事ができる人」と感じられるでしょう。キャリアセンターに限らず、周りにあるサポート資源を積極的に活用して充実した学生生活を送ってください。そこで培った力が就活で、そして仕事で、活きるはず